

9 . 2 9 県民大会に世代をこえた 参加を求めるアピール

9 . 2 9 県民大会の開催がいよいよ目前に迫ってきました。私たちは県民大会開催の趣旨を踏まえ、多くの参加者が集うことを期待しています。

とりわけ私たち社会科教育担当者としては、今回の県民大会が広く沖縄県民の意志・関心を表明する場となろうとしていることを重視しています。それは日本国憲法の基本理念の一つとされている主権在民とは、このように行動することだと、具体的に示している画期的な事例と考えられるためです。そうした歴史的出来事が、沖縄で今刻まれようとしていることに私たちは深い感銘を覚えると共に、この新たな歴史を刻む場に、高校生、中学生や子どもたちにも立ち会えるようにすることで、世代を超えた体験の継承と話し合う機会の創造をめざしたく思います。それが生きた社会科学習であると考えます。

県民の皆さん、是非新たな歴史の創造者、目撃者、立会人となり、話し合う機会を創るためにこの大会に参加しましょう！ここに広く呼びかけます。

2007年9月26日

琉球大学教育学部 社会科教育担当教員

里井洋一 河名俊男 島袋純 高嶋伸欣

高良倉成 豊見山和行 西岡尚也 長谷川裕

前村佳幸 山口剛史